

平成23年3月14日

お得意先様 各位



ニプロ株式会社

東京電力の「輪番停電」に伴う対応に関しまして(透析支援システム:第2版)

日々より格別のお引き立て頂きありがとうございます。

今回の地震の為に電力供給が難しくなった東京電力が地区を区切って順番に停電をして行く「輪番停電」に際して透析情報管理システム DiaCom/とうせきサポート(以下、透析支援システム)の扱いについてご連絡致します。

尚、御不明な点などございましたら弊社担当者までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

停電の時間(何時から何時まで)は予め東京電力及びマスコミを通じて知ることが出来ますので、停電が予定されている時間帯を避けて治療計画を立てて頂きますようお願い致します。

万が一、避けられない場合、透析支援システムの使用を中止し、透析装置への除水等の設定は手動で行い、また治療内容(処置・投薬・看護記録等)・バイタル・体重・装置運転データの記録、処方箋等各種帳票の発行は用紙への手書きしていただきますようお願い致します。

透析支援システムに使用している機器の電源の切り方、入れ方及び動作確認方法については、以下のようにお願いします。

停電前:システム構成機器の電源を切り方

- 1) パソコン : 透析支援システムソフトを終了させ、パソコンの Windows スタートメニューから[シャットダウン]を選択してください。
- 2) UPS : 電源 on/off ボタンの操作し、OFFにしてください。
(注:必ずUPSに接続されている機器の電源を先にOFFしてください)
- 3) プリンタ : 電源 on/off ボタンの操作し、OFFにしてください。
- 4) 外付けHDD : 電源 on/off ボタンの操作し、OFFにしてください。
- 5) 無線LANアンテナ : コンセントからACアダプタを抜いてください。
PoE アダプタと接続している場合は、PoE アダプタの電源をコンセントから抜いてください。
- 6) HUB : コンセントから電源プラグを抜いてください。
(UPSに接続している場合は、電源プラグを抜く必要はありません)
- 7) シリアル-LAN変換機: コンセントからACアダプタを抜いてください。

停電復帰後:システム構成機器の電源の入れ方

まず、UPSの電源を入れ、パソコンの電源を入れて Windows を起動してください。次に、LAN に関係するシリアル-LAN変換機、HUB、無線LANアンテナの電源を入れ、その後、プリンタ、外付けHDDの電源を入れてください。

透析支援システムの動作確認

- 1) 透析支援システムソフトを起動し、動作確認を行って下さい。
- 2) 透析装置との通信テストを実施してください。(下記手順)

【透析情報管理システム DiaCom の場合】

監視記録画面の「通信テスト」ボタンをクリックし、通信テスト画面を表示させます。
通信テスト画面で、[ベッド番号]を選択するプルダウンメニューから[全て]を選択します。
[テスト実行]ボタンをクリックします。

- 3) しばらくするとテスト結果が表示されます。

[通信は正常です]と表示されれば、問題ありませんが、[装置と接続できません]と表示された場合、シリアル - LAN変換機、HUB、LANケーブル、透析装置のいずれかに異常がありますので、LANケーブル、電源コードの接触状態の確認、透析装置の再起動等の対応をお願いします。

【透析支援システム とうせきサポートの場合】

ソフトを起動し、画面上部メニューにある[監視一覧]ボタンをクリックします。
ベッド毎に通信状態が表示されます。通信が正常でない場合、ここに[通信エラー]と表示されますので、シリアル - LAN変換機、HUB、LANケーブル、透析装置のいずれかに異常がありますので、LANケーブル、電源コードの接触状態の確認、透析装置の再起動等の対応をお願いします。

ご不明な点、通信が正常に復帰しない場合は、弊社担当者までご連絡願います。

以上